

(講座)
(氏名) 藤秀人

(研究室) 治療薬剤学
(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 生体リズムを基盤とした医薬品適正使用に関する研究
2. 投薬タイミング規定因子を用いた癌化学併用療法に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Ohyama K., Tomonari M., Ichibangase T., To H., Kishikawa N., Nakashima N., Imai K., Kuroda N.; A toxicoproteomic study on cardioprotective effects of pre-administration of docetaxel in a mouse model of adriamycin-induced cardiotoxicity. *Biochem. Pharmacol.* **80**, 540-547 (2010). (IF2008: 4.838)

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 兒玉幸修、樋口則英、森田光貴、佐藤加代子、濱本知之、藤秀人、北原隆志、佐々木均；市販ソフトを用いた制吐療法設計支援システムの開発とその評価 *日病薬誌* **46**, 1261-1264 (2010).

(B-d) 紀要

1. 藤秀人：抗リウマチ薬の時間薬物療法を目指して *薬事新報* **2610**, 15-21 (2010).
2. 藤秀人：関節リウマチ患者を対象としたメトトレキサートの時間治療 *臨床薬理の進歩* **31**, 15-24 (2010).
3. 藤秀人：抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立 厚生労働省科学研究費補助金（免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業）抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立に関する平成 21 年度総括・分担研究報告書 pp4-8 (2010).
4. 藤秀人、井田弘明：関節リウマチ患者を対象としたメトトレキサートの時間治療 厚生労働省科学研究費補助金（免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業）抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立に関する平成 21 年度総括・分担研究報告書 pp10-14 (2010).
5. 藤秀人：RA 発症に基づく生体リズム変容の機序解明 厚生労働省科学研究費補助金（免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業）抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立に関する平成 21 年度総括・分担研究報告書 pp15-18 (2010).

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演,特別講演,受賞講演

1. 藤秀人；関節リウマチ病態の概日リズムと時間薬物療法 第 31 回日本臨床薬理学会（京都、2010 年 12 月）

(B-b) 一般講演

1. 森下圭美、黒崎友亮、北原隆志、中村忠博、藤秀人、佐々木均：自己組織化により形成される葉酸修飾型遺伝子ベクターの開発 第27回日本薬学会九州支部大会（長崎、2010年12月）
2. 赤松隼人、藤秀人、友成真理、岡崎史泰、松永直哉、大戸茂弘、佐々木均：Cisplatin・Docetaxel併用療法における至適投薬方法の検討 第27回日本薬学会九州支部大会（長崎、2010年12月）
3. Mari Tomonari, Hideto To, Hiromichi Yoshimatu, Yasuhiro Tuji, Emi Sonemoto, Noriko Shimasaki, Ichiro Ieiri, Shun Higuchi, Hitoshi Sasaki, Yukitaka Ueki: Methotrexate chronotherapy is effective against rheumatoid arthritis 第4回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム（東京、2010年11月）
4. 島崎訓子、藤秀人、友成真理、辻泰弘、曾根本恵美、佐々木均、植木幸孝：関節リウマチ患者を対象としたメトトレキサートの時間治療 医療薬学フォーラム2010（広島、2010年7月）

【研究費取得状況】

1. 抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立；平成22年度 厚生労働省科学研究費 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
2. プラチナ製剤の末梢神経障害軽減を目指した時間薬物療法の開発；平成22年度 中富健康科学振興財団 研究助成金

【学会役員等】

1. 日本臨床薬理学会：評議員
2. 日本薬学会：医療薬科学若手シンポジウム世話人
3. 長崎県病院薬剤師会：理事
4. 長崎県薬剤師会：地域保健委員会 委員

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	43編	（邦文）	24編
総説（欧文）	0編	（邦文）	6編
著書（欧文）	0編	（邦文）	0編
紀要（欧文）	0編	（邦文）	10編
特許	0件		